



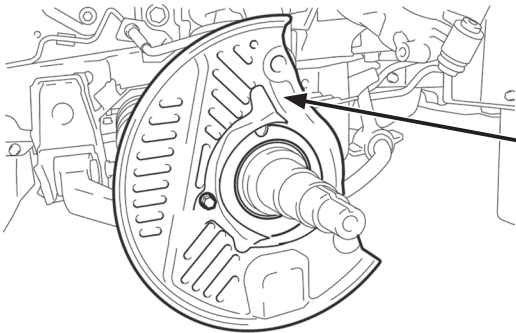
テクニカル・メッセージ

小型トラック フロントアクスル ハブのダストカバーに関する整備方法変更について

従来、フロントアクスルのダストカバーとナックル間には液状ガスケットを塗布しておりませんが、当該部位に液状ガスケットを塗布するよう整備の方法を変更致しました。ダストカバーに関する整備時は以下内容を確認していただき作業していただきますようお願い致します。

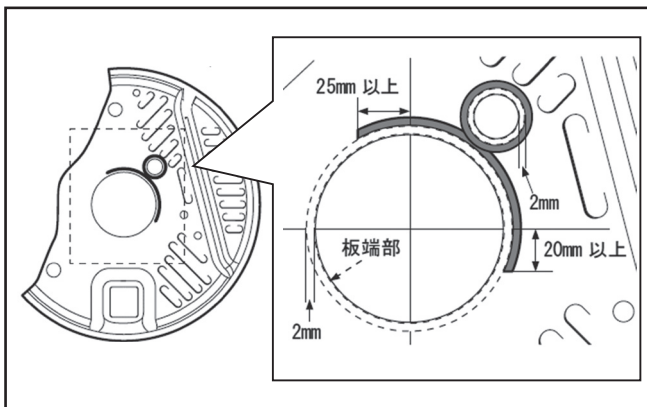
■ 対象車両

小型トラック ディスブレーキ車（独立懸架車）



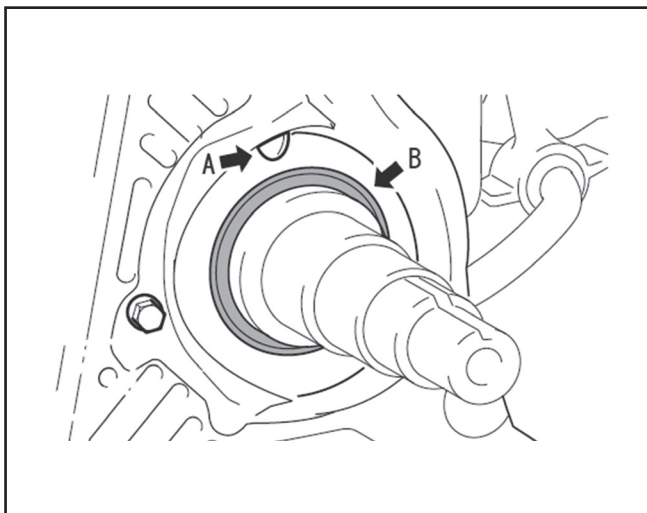
当該部位に液状ガスケットを塗布するよう整備方法を変更致しました。
(フロントアクスルのみ)

■ 変更後の整備方法について（整備解説書の抜粋）



(1) ダストカバー（ナックル側）に液状ガスケット（スリーボンド 1215 相当）を塗布する。

- ・破線部の範囲に液状ガスケットを塗布しないこと。また板端部より2mm 空けること。
- ・液状ガスケットは、約3mmの幅で塗布する。
- ・液状ガスケットは、1mmの厚さで塗布する。



(2) ナックルにダストカバーを組み付け後、ABSセンサー（A部）に液状ガスケットが付着していないことを確認する。液状ガスケットの付着がある場合は、必ず確実に拭き取ること。

- ・液状ガスケットがセンサーに付着するとセンサーの機能が喪失する可能性があります。

(3) 図のB部に液状ガスケットの付着がないことを確認する。液状ガスケットの付着がある場合は、必ず確実に拭き取ること。

- ・液状ガスケットがオイルシール部に付着するとシール不良やグリース内に混入する可能性があります。